

東進でつかむ春 東進でかなえる夢





東進衛星予備校よりごあいさつ

謹啓

早春の候ますますご健勝のこととお慶び申しあげます。平素は格別のご愛顧をいただきあ りがとうございます。大学入試の全ての日程が終了していない時期ではございますが、今年 も新年度用の案内書を全高3生にお送りすることに致しました。このような時期ですからこれ らの案内書がまったく不要であるという方もいらっしゃるとは思います。そのような方に対す る失礼をどうかお許しください。

当グループは、東進衛星予備校の中で、高卒生部門を認可された数少ない高卒生専門の校 舎となっております。また、全国約1000校の中で、合格実績や生徒指導面において、毎年、 最優秀賞を受賞している日本屈指の校舎です。予備校選びの際には、是非、東進衛星予備校 高卒本科コースをご検討くださいますよう切にお願い申し上げます。

謹白

代表取締役 大熊 一範





新大学入試に3ランク上の大学へ!

最先端 AIを最大活用すれば 共通テストはゼッタイに恐くない!



予備校界を代表する精鋭大物講師陣



東進では類を見ない大物講師陣で受験生をバックアップ!

東進衛星予備校はより良い授業を求め、他の予備校の看板講師を 引き抜いてきました。全国の書店でベストセラーと呼ばれる参考 書の7割が東進の講師で占められています。

生徒のアンケート・成績上昇による評価で厳しい生き残りに勝ち 抜いた精鋭集団でがっちり受験生をバックアップします。

他予備校の欠点

他の大手予備校の場合、コース授業が始まるまで講師が ハッキリしなかったり、無名講師である場合が多く、看板 講師の場合は別料金の単科授業であることが多い。



Point2 全ての授業に確認テスト



東進では、授業の理解度を徹底的に高めます。

東進衛星予備校では、全ての授業に10~15分の確認テストをオン ラインで運営管理。確認テストで90点以上を取らないと次の授業 には進めません。これにより復習を貯める事無く理解を積み重ね るのと同時に生徒がどこでつまずいているのかを、スタッフが発 見・指導が可能になりました。

他予備校の欠点

さらっとノートを見直す程度で次の授業へ。全ての復習 を自力で行わなければいけない。テストレベルの復習を 自力で継続するのは非常に困難。



Point3 質問システム(担任·電話·インターネット)



本科担当が直接、受験生の質問・疑問に丁寧 にお答えいたします。

東進では、授業外でも受験生をサポート!

東進衛星予備校では、授業中の疑問点や学習方法、受験について の質問や相談等をその日に解決できるよう、経験豊富な担任に、 随時質問、相談することが出来ます。また、自宅での復習でわか らない時等に利用出来るバックアップサービスも利用することが 出来、君の質問に対して東大・早慶等一流大学出身スタッフ総勢 70 名が丁寧に回答してくれます。

東進では、受験に必要な事は全てバックアップ致します!

他予備校の欠点

授業中の質問は、人気講師の授業になればなるほど困難。 授業後の質問も講師の都合でなかなか出来ず、そのまま に・・・。疑問点の積み重ねは致命的。



Point4

担任面談 (講座決め+定期面談)



経験豊富なスタッフによるサポート

入学時の講座決定は非常に重要です。過去に 1000 人以上の講座 決定面談を経験した経験豊富な担任が、個々の学力に合った講座 選択や学習指導を過去の膨大なデータと照らし合せながらサポー トします。また、週に 1 度、進度確認・進路相談を行っており、 受験生をトータルサポートしております。

他予備校の欠点

大手予備校での担任面談は平均年2回。進度確認もなく 教務力の無い事務員では、受験までのサポートは難しい。



′通年授業 12段階レベルアップで 6月修了。7月以降は志望校対策!

※標準スケジュール

慶応義塾に合格した本科生履歴

入塾時:レベル1→慶応:レベル8 長文(レベル5~7)

センター英語(レベル3~4)

夏期・冬期・直前

大学対策講座 記述対策講座

過去問演習(私大/国公立2次)

総まとめ講座

直前必勝講座

英文法(レベル1)

過去問演習(共通テスト対策)

12月 4月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 5月 1月

個々の目標に合せた受講とカリキュラム設定が可能。

構文(レベル2)

東進では教科を増やしたい方の為の講座や苦手教科を多めにし 得意教科を少なめにする等、全ての教科を段階的に組むことが 可能です。入学時のスタートレベル判定で空回りしないスタートを 作り、最短時間で成績向上をねらいます。

他予備校の欠点

他予備校は全教科同じレベルでスタート。 得意科目に合せると、苦手科目で空回り。 「〇ゼミは難関授業は良い物があるが、 超基礎講座はレベルが高すぎる・・・。」



Point6

全寮制予備校並みの勉強時間と集中のできる受講環境







リフレッシュ出来る休憩スペース

全寮制予備校並みの勉強時間 授業中の外出不可・携帯持込禁止 強制された方が楽に勉強できます。 登山 授業 授業 授業 授業 ル ル 休 校 憩 校 自習 Δ

※校舎により異なります。※夕方 HR 以降は家庭の事情により帰宅可。

集中できる専用個別ブース

1日10時間以上勉強するには、好 環境が必要。集中して勉強する為に、 全て個別照明・個別受講機器付きの 専用個別ブースです。

(気分転換の為週一回の席替え有り) 食事専用スペースも完備(外食も自由)

他予備校の欠点

席が自由な為、直前期・講習期に自習席 の確保が難しく、勉強以外の労力を必要 とする。教室を利用した自習では仕切り も無く、照明が弱い為集中が出来ない。

授業の受けやすさ

一人一台の専用席で、T-POD によ る受講の為、自分で講義の一時停止・ 巻き戻しが可能。細かい板書も拡大 が出来、90分の授業を95分~120分 かけて見直しながら受講が出来ます。 暗記系には見直しが効果的!

他予備校の欠点

生授業・大画面サテライト授業も席次第。 後ろの席では板書も見辛く、一時停止が 出来ない授業では、リアルタイムで書き ながら理解するのが大変・・・。

質と量を兼ね備えた勉強時間

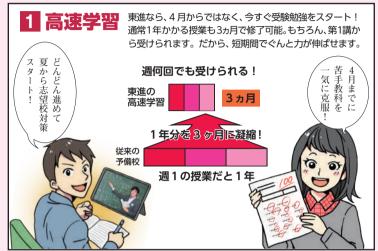
勉強は、質・時間のどちらが欠けても ダメです。東進の誇る最高の講師陣に よる講座の[質]と、1日最低10時間の [量]を確保する東進のカリキュラムは、 確実に合格へと導いてくれます。

他予備校の欠点

授業時間の最低量が確保されておらず、 授業後の自習も自分の意思次第・・・。 ○ゼミのロビー雑談は毎年恒例で、誘惑 に負けてしまう人が多数。

東進

新大学入試に3ランクUP合格を実現する! Alによる最先端の学習システム















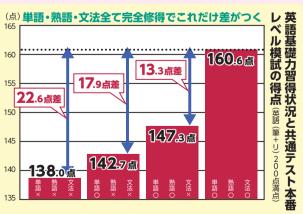
共通テスト対策は 「何から始めればいいんだろう?」 そんな君は、まず3月・4月のうちに英語基礎力を!

今年のセンター試験の問題を受けてみて、いろいろな課題が見つかったけれど、何から始めればいいんだろう……?そんな君は、まず今のうちに英語基礎力を身につけよう。

右のグラフは、3カ月間で一気に英語基礎力をどれだけマスターしたかで共通テスト本番レベル 模試の点数がどれだけ変わるかを調べたもの。英語基礎力をマスターすれば一気に 8割が突破で きることがわかる。3月・4月から始めて 5月までに一気に英文法までマスターしておけば、共通テストで8割が見えてくる。

さらに、4月・5月になってから基礎を固める受験生に比べ、国公立二次試験・私大入試対策に時間をかけることができる。

英語・数学・国語といった主要科目の早期完成をひとつめの中間目標として、浪人生活を本格スタートさせよう。





大学受験科年間学費

① コース別学費(講習含まず)

※金額はすべて税抜き表示です。

区分	コース名※1	授業種類	入学金	担任費	模試費	授業料
	東大、京大文系コース	15 講座	150,000ฅ ※2	30,000 п ※3	24,000 _円 ※4	450,000 ⊨
国	旧帝レベル国公立文系コース	15 講座				450,000 ⊨
公	上位国公立文系コース	15 講座				450,000 _円
	東大、京大理系コース	15 講座				450,000 _円
立	旧帝レベル国公立理系コース	15 講座				450,000 _円
	上位国公立理系コース	15 講座				450,000 ⊨
	早慶上智文系コース	15 講座				450,000⊨
Τ,	難関私立大文系コース	15 講座				450,000 ⊨
私	上位私立大文系コース	15 講座				450,000 ⊨
	早慶理系コース	15 講座				450,000 _円
立	難関私立大理系コース	15 講座				450,000 _円
	上位私立大理系コース	15 講座				450,000 _円
	私立大医歯薬コース	15 講座				450,000 ⊨

- ※1 入学面談にて、コースを決定していきます。 ※2 入学金免除証をお持ちの方は、3月31日までに手続きされた場合、入学金が50,000円割引されます。 ※3 週間面談など、生徒指導に関わる年間指導費です。

② 奨学生制度

奨学生制度がございます。詳しくは当校までお問い合わせ下さい。

③ 分割納入について

東進衛星予備校では、学費等の便利な分割納入もお受けいたしております。 お支払いに関しましては、下記をご参照下さい。※初回お支払いは4月末となります。

分割ローン 一覧表	12回	10回	8回	6回	
最終申込日	3月27日	5月27日	7月27日	9月27日	
	5.0%	4.0%	3.5%	3.0%	

詳しい資料請求

① ホームページからの資料請求

「東進 熊谷」で検索の上、お問い合わせ下さい。

② 電話または FAX での資料請求は各校舎までお願いします。

(※FAX の方は氏名・出身校・住所・電話番号を記載の上送信して下さい。)

熊谷校(TEL/FAX 048-525-7978) 熊谷駅前校 (TEL/FAX 048-501-7035)

飯能校(TEL/FAX 042-974-4050)

東松山校(TEL/FAX 0493-25-5351) | 前橋校(TEL/FAX 027-220-1210) 上田校(TEL/FAX 0268-75-0425)

③ 校舎へ直接お越し頂く場合

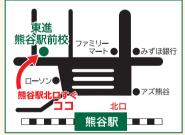
下記の校舎までお越し下さい。2、3月は大変混み合いますので、説明・体験授業をご希望の際は、事前に電話予約をお勧めします。



熊谷校 TEL 048-525-7978



飯能校 TEL 042-974-4050



熊谷駅前校 TEL 048-501-7035



前橋校 TEL 027-220-1210



東松山校 TEL 0493-25-5351



上田校 TEL 0268-75-0425

合格体験記

野球漬けの高校生活から 1 年でセンター198 点へ!

早稲田 立教 法政 合格

3 科目で 223 点→431 点に UP 森下 晃熙 (東京農業大学第三卒)



2月下旬。森下の受験は終わった。全て不合格、当たり前の結果であった。野球部で練習、試合の日々に明け暮れ、勉強ができる時間はほとんどなかっ た。引退してから勉強を開始したが、単語は覚えられず、日本史は江戸時代で勉強がとまってしまった。森下の夢は学校の先生やで働くかで将来は まだ漠然としていたがはっきりした目標は早稲田大学に進学することだった。小学校の時から野球をやっていたので、TVで甲子園や6大学野球を 見ていたときに、特に早稲田大学の選手がかっこよく見えたという。今度こそは絶対合格する!森下の意志は一度失敗しても消えることはなかった。 彼の予備校選びは高校生の時に持っていた参考書のほとんどが東進の講師が書いた本で身近に感じたことからすぐ東進に決めた。

4月から受講を開始。どの科目も基礎講座からスタート。文法講座を終え構文講座へ進むと森下の英語の世界観がガラリと変わった。「今まで単 語と熟語をつなぎ合わせて読んでいた自分が恥ずかしくなりました。この授業で英文の構造理解ができるようになり、正確な意味をつかめました。」 森下は構文の授業をさらに進め、復習も徹底、どんどん読めるようになることが勉強を楽しくさせた。その結果が6月の模試であらわれる。4月で 102点だった英語が154点、一気に52点も上げた。現代文も授業で論理的な思考が身に付き、100点満点中83点を記録。

しかし森下は「この6月の模試で成果は出たのは良かったのですが、昼ごはんを一緒に食べているYくんに国語、日本史は負けて合計得点でも負 けて悔しかった。」と面談時に語った。ここから勉強時間はさらに増えるものの成績は8月の模試で英語を下げ、国語は146点と微増、日本史は 70点を突破した程度の結果になる。

ある日の面談「英語がだいぶ下がったけど原因は?」と担任が森下に問いかけると「4~6の図表問題やイラスト、長文の失点が多いです。時間 が足りず、字面を追っているだけというか…。焦って内容が入らなくて。」と答える。「じゃあその原因はなんだと思う?」と再度、森下に問う。担 任はある程度その原因は分かったがあえて自分から答えない。考える時間を与える。「…音読ですか?」と森下。担任は頷く。「構文に意識が集中し すぎて左から右の読んでいく直読直解の意識が薄れて、スピードも遅くなったんだと思います。きれいな正確な訳を求め過ぎて時間の意識も欠如し てました。」と続けた。担任と考えた解決策は今までの構文や長文のテキストを1日2時間音読、それと併行で今受講中のハイレベルの長文の音読 もすることだ。その日から音読を開始。音読をしすぎて声がかすれ喉を痛めた日があったが、それでも続け10月の終わりの模試で英語は198点、 時間も10分以上余って見直しもできた。

11月、早稲田の過去問演習講座を 9 月から2学部を10年分解ききった状態ではあったがもう 1 周する計画を立てた。正答率を担任と分析す ると英語はいつも合格点をオーバーしていたが日本史が合格点に届かず、過去問演習講座の解説授業と早慶日本史演習のダブル受講で落としてはい けない問題、差がつく問題の攻略、知識の定着に努めた。また立教、法政も過去問を解いていき、分からない部分は担任に聞いて解決をした。センター 1 週間前までは早稲田、立教、法政対策でギッチリ詰め込み、センターにはそこまで重点は置かず、試験終了当日にすぐ私大対策に切り替えた。小 学校の時から夢だった早稲田の学生にもう少しでなれる、その想いが勉強の原動力だった。

|結果、早稲田、立教、法政合格「夢がなんとか叶いました。夢の続きなんですけど勉強してて英語の先生になりたいと思います。あと野球部の顧問です」 と森下は目を輝かせながら未来を語った。

英語 19%→96% 驚異の77%UP 去政大学文学部合格 英語が 38 点→192 点に UP





「スタートが遅かったです。自分が校舎で勉強していると、高校 1 年生からきている生徒さんをみて自分遅かったなー、と心の中でずっと思ってい ました。」「もう一回先生面倒見てください。よろしくお願いします!」大熊の一度目の受験が終わった時の言葉。3年の夏に東進に通うも半年弱の期 間で勉強したが結果は不合格。もう一度、東進で勉強することになった。大熊は予備校選びは全く迷わなかったという。「担任が一生懸命面倒見てくれ たのでここがベスト、他の予備校は探さず、すぐ手続きしました。」3月、寒さがまだ残る中、大熊は勉強を再開した。本来、量に勝る勉強はないかも しれない。基本は高速マスターだ。「1週間で3000。朝~夜まで校舎にいれば絶対終わるから大丈夫だよ。」と担任。「ホントですか?3000はちょっ と…」とすかさず「今いる1,2年生はほぼ終わってるよ」と返す。「負けたくないんでやります!」担任は、負けず嫌いの彼の性格を分かっていたの であえて厳しい目標を設定する。毎日朝9:30~22:00まで。小学校時代から高校までサッカーをやっていたため、体力と根性には少なからず 自信がある。そんな要因もあってか大熊は3000コの単語は5日、熟語も2日で終えた。4月中に高校入門レベルの文法を修了、C組という入試頻出 英文法の授業をも4月中に終わらせた。

5月から英語は長文講座へ。担任の理想通り、大熊の理想通りに勉強が進む。長文は受講したあと、音読を10回してから次の講に進んだ。どんど ん読み込むうちに語彙が定着、また読解のスピードが劇的に変わった。午前中は英語の受講と音読室での音読。担任作成の毎日の単語テストは1~2 問ミスするくらいで満点もどんどん記録するようになっていく。基本動作の繰り返し。大熊は担任が言ったことを全て実践していった。

英語は4月93点、6月110点、8月143点。8 月の時点で、現役時の38点から110点以上UPさせた。「模試で70%は今まで一回もとっ たことないです。中学校でもなかったかな…。勉強で成果が上がったこと自体が、いままであまりなかったので。ホント嬉しいです!」大熊のやる気 はさらにヒートアップする。9 月、英語のテキストの音読はずっと徹底していたが、現代文や日本史も受講後音読をするようになる。模試の現代文の 点数は4月48点、6月64点、8月48点と7割に届かない成績。模試返却の時の失点分析では現代文の読むスピードが遅いということ、読んでも 文章が頭に入らないケースもあるということから、まず授業で習った現代文の文章をしっかり声に出して読む、またこれから受講する現代文も必ず音読、 そして文章理解に努める。英語と同じ勉強法を国語でも実践する。さらに日本史も。追加申込をした志望校対策の講座も受講後、必ず音読、高速マスター 講座にある長文速読トレーニングも毎日解いた後、音読…。センター当日の結果は英語189点、国語現代文78点、古文37点、日本史90点。英 語はいままで192点が模試でベストだったがプレッシャーに打ち勝ち、それに近い点数は叩き出した。

2 月、大熊は校舎に法政大学の文学部英文科に合格したことを伝えるために登校した。そして他にも報告があるという。「先生、将来は塾や学校で英 語を教える先生になりたいと思っています。点数が悪い生徒の気持ちはめちゃくちゃ分かるんで、先生になってそういう子達を救えたらいいなぁって。」 春からは、法政大学のキャンパスで、その夢を追いかけていくだろう。

スモールステップで物理を一から勉強。 電気通信大 法政 合格!



増井 洋平(桐生高校卒

「受かりましたよ。」

いつもクールであまり感情を表に出さない増井が、少しだけ興奮していた。<mark>電気通信大学合格!</mark>それが興奮の理由だった。

情報通信に関連した仕事につきたい。それが増井の当初からの目標だった。その目標を達成すべく、まだ寒さの残る去年3月、増井は東進衛 星予備校前橋駅前校の門を叩いた。

「あまり、まよわなかったです。」増井は語る。「担任がしっかり指導してくれる予備校だというのが大きかったです。」「経済的な面や勉強 時間の確保をかんがえると、家から近い、のは合格の絶対条件と思いました。」群馬県内にいくつかある予備校の中で東進の前橋駅前校を選 んだ理由を聞くと増井はそう答えた。

ただ、そこにはもうひとつ理由があった。それは他の予備校と違い<mark>自分にあった授業を選べる</mark>点だった。「自分で講座を選べる事と、自分 の理解に応じて進められる点ははずせなかったです。」実は増井は情報通信学部を希望しているにもかかわらず、現役時は理科が生物選択だっ たのだ。生物で一定の点数は取れつつも、何か違うと感じていた。「生物はやっていて面白くない。何か違う。<mark>物理を一からやりたいと思って。</mark> 入学面談のとき東進なら大丈夫と言われて、これだ!と思いました。」

そう考えた増井は東進の本科生として物理を一から勉強することに決めた。それが出来たのも自分で講座を自由に選べる東進の仕組みが あってこそ、だった。他の予備校ではコースが決まっていてなかなか自分にあったカリキュラムが組めない。自分で見つけた場所で、自分で 道を切り開く。増井らしい考え方だった。

校舎では朝、夕のHRがあるから、自分のペースを維持しつつ、一日のスケジュール管理がしっかりできる。担任との面談で、時間割を決めて、 納得のいくまで受講する。疑問点は遠慮なく、担任にぶつけた。どんな疑問点、質問も聞いて、答えてくれる、担任の存在は大きかった。

彼が続けられた理由がもうひとつあった。増井に聞いてみた。「やっぱり一緒に勉強した本科の友人たちと勉強法をアドバイスしてくれた 先生のおかげです。」一人だと心が折れそうになる受験勉強、増井は一人ではなかった。いつも共に勉強に励む友人たちとそれをサポートす る担任、そしてそれを見守ってくれる両親の存在が大きかったと増井は言う。

いつも開校時間ぎりぎりいっぱいまで友人と勉強をし続けた増井。受験という高い壁を乗り越えただけでなく、人間としてもこの一年間で 大きく成長したに違いない。

大学合格をはたした増井に次の目標を聞いてみた。「いやーまだわかんないですよ。とりあえず学校の授業をきちんと聞いて単位落とさな いことかな。」相変わらずクールに語る増井だったが、その表情にはこの一年で得た、確かな自信と充実感があふれていた。

英・数・化の3科目でセンター95%達成!

慶應(薬) 北里(薬)合格

センター試験結果 英語 195 数 IA97 数 IIB92 化学 95 佐々木 廣大(国際基督大学高校)



1回目の受験は全敗。2月に浪人が決定した。大学受験を振り返る・・・。

高校2年の秋に東進に入学した。どの授業も知的感動の連続でつまずいていた数学、化学の成績は半年でセンターレベル80%を超えた。しかし センター本番で頭が真っ白になり 70%弱に終わる。そのままズルズル引きずり私大入試も失敗。本番の弱さを痛感する。部活をやっていたことや 勉強への取り組みにムラがあったことにも後悔した。

予備校探しをしないといけないと心では思うもなかなか動けない。西武線で池袋に行くには1時間半かかる。電車は混雑して勉強はできない。 時間がもったいない。いくつもの予備校のHPを見るもここがイイ!と思うものはなかった。

ある日、佐々木が通っていた東進のHPを見る。体験記が掲載されていたので読んでみると東進でもう一年過ごすのは意外とありかなと考え はじめた。他の予備校に比べて圧倒的に授業がいいことと2月からでもスタートできることが魅力的に思えた。

数日悩むも、佐々木は2月下旬には東進でスタートを切ることになった。

元々通っていたので何をすべきかは明確であった。来る日も来る日も受講+高速マスター。現役時に完璧には徹底できなかった『テキストの復習』を

十周繰り返した。「同じ問題を解きなおすことで基本フォームが作られ、それが別の問題を解くときにも役に 立つ。」と担任にアドバイスされたのでひたすら量をこなした。

センター過去問演習は6月から始め『全科目10年×2回+大問別特訓』を8月中に終えることが出来た。 その段階で正答率 90%を記録した。

秋冬、志望校対策講座の受講、そして慶應大学の過去問に取り組む。合格最低点ギリギリの点数を1回目で 出せた。北里に関しては8割とれた。

いつの間にか佐々木の机にはボロボロになった赤本と青チャート・東進のテキストが積みあがっていた。間 違えた問題はそれを解きなおすだけではなく似た問題を赤本・チャートから探し徹底的に解きなおす。佐々木 に分からない問題、できない問題はほとんどなくなっていった・・・。

今、佐々木は慶應大学薬学部に通っている。そして過ごしていた東進でアルバイトをしている。「数学と物 理の質問はやっぱり多いですね。自分は化学選択だったんで物理はちょっと自信はないんですけど。生徒に教 えられるように物理を勉強しています。あと質問に答えるだけでは成績は上がらないので合格する勉強法・伸 授業後の数学·物理の質問対応の様子 びる勉強法も日々伝えています。」佐々木を慕っている生徒は多い・・・。



合格体験記

現役時 53.7%→1 年後 91.8%、驚異の 38.1%UP を記録。

東京学芸 早稲田 立教 明治 全勝

5 教科 7 科目 484 点→827 点に UP 大木 智弘 (川越高校卒)



3年生の3月、大木の受験は終わった。結果は全滅。高校3年間、野球や学校行事に時間を取られ、勉強に一生懸命打ち込むことができなかった。大木の志望校は東京学芸。 夢は数学を面白く教える先生になること。これを達成するにはまず5教科7科目で200点上げなければならない。偏差値でいうと20のひらきだ。

一般的に浪人生が1年間で上がる点数は50点といわれ、200点 upは不可能に近い。しかし東進であれば高速学習ができるため1年間の授業を1カ月で終えることも できる。つまり成績が劇的に上がる学習の仕方が完璧にそろっているのだ。しかも他の予備校は5月から本格的に授業が始まるが、東進なら入塾してからすぐ勉強を始める ことができる。大木は3月中旬、東進で浪人生活をスタートした。大木は英語が苦手で単語をほとんど覚えていなかった。担任は「英語はまず単語を頭に入れる。1000 より2000、2000より3000。数が多ければ多いほど力はつく。それも短期間に一気に!」

東進ではどんなに暗記が苦手な生徒でも3日~1週間で2000コ詰め込む高速マスター講座がある。大木は入塾してすぐに取り組んだ。センター1800は2日、熟語 750は3日。驚異的なスピードでこなす。担任の英単語テストも3月中に50点中の46点を記録。大木は3月中にセンターレベルの英単語、熟語を一気に覚えてしまった。 英文法の授業、構文の授業も4月のセンター模試までに終えた。現役時のセンターは83点であったが、4月の模試で132点。スタートの1ケ月で50点近く上げた。担 任と大木で立てた計画通りの学習量と成績up。面談時に少しだけニッコリしたが、「5月はどのように5教科7科目やっていけばいいですか?」「二次試験で使う数ⅢCを どういうスケジュールでやればいいですか?」とすぐ切り替えた。大木はきわめてストイックだ。油断という言葉が彼にはまったくない。5月のGWから毎週水曜日は、センター 過去問演習講座で英語と数学、国語の3教科に取り組む。英語は回を重ねるごとに140、160、170点を記録、数IAも80点を突破。しかしIBと現代文が不安定。 ある日の面談で「数ⅡBは計算量が多すぎることと、特に空間ベクトルは計算も厳しいけど図形の作図がめちゃくちゃになって・・・」と大木。今までにない深刻な表情だった。 その日の面談は長時間続いた。担任と大木で考えた勉強法は数学ⅡBは毎日解く、特にベクトルはそれとは別に朝と夜に大問別で解く。現代文は読み方、解き方がバラバラ になっていたのでセンター現代文を受講、その後に過去問を解くという学習に変更した。効果はなかなか出なかったが、実のところ、大木も担任も確実に手ごたえを感じていた。 そして、9月の終わりには、過去問で数学 II B、現代文が8割を安定してとれるようになっていた。

10月、いよいよ過去問演習にはいる。日曜に国立二次の記述型答案練習講座、木曜に早稲田の過去問演習講座を解く。早稲田の数学は大木にとって相性がよくない問題 が出題され合格点に届かないこともあった。そんなときこそ、解説授業をしっかり受けて、過去問の解き直しを徹底的にやった。

大木は1年の全てを勉強に費やした。毎日、朝から夜まで。正月も校舎で勉強。リズムを崩すことはなかった。

結果、東京学芸、早稲田、立教、明治合格。それは、担任と二人三脚でつかんだ人生の勲章ともいえる。大木は今、志望大学に合格するという中間目標を達成した。これか ら数学の先生になるために、数学の楽しさを追究するために、大学でもストイックに勉強に打ち込むだろう。

5 教科 7 科目 589 点→758 点に UP







高校時代、受験生としての自覚、大学で何を学びその為に何をするべきか…、という目的意識が欠けていた田谷。なんとなく国立に行ければいいと考え、地元の国立大学も、 滑り止めにしていたはずの私立大学もオール不合格。当然といえば当然の結果だった。

浪人した以上、考え方を改め、高校入試の成功体験や固定概念に囚われることのないようにしていきたい、と4月、東進での浪人生活に入る。

田谷は、もともとあまり欲がなく、そのため大学についても知識がない。国立で近隣の大学に行ければいいと考えていた。だから、勉強にもうちこめない。これでは浪人 しても同じ結果になる。4月初旬、担任は、意を決し、彼の意識をもっと上に向けさせること、から始めることにした。

『やればできる!君は自分の力をまだわかっていないだけだよ。』『キミなら高みを目指せるよ!高みを目指すなら早稲田を目指してみようよ!』

田谷の潜在能力を開花させること。欲がないようにみえる生徒だけど、希望が見えればきっと欲がでてくるはず、と、この1年、『光と情熱を注ぎこむ向日葵のような存 在になろう』、と自らを奮い立たせる。田谷は、面談で、これからやるべきこと、それができれば早稲田に合格できること、を伝えられる。その内容は、慎重な田谷でも、 十分に納得できるものだった。田谷は、徐々に興味を持ち、いろいろな大学を調べ直す。

そして自ら、『早稲田』という大学に興味を持ち始める。それは最高峰という存在に自分が叶うかもしれないという希望の芽だった。

『先生、届くかわからないけど、早稲田やってみようと思います。』、彼が初めてその意欲を、言葉に出した。

目標とそれに至る道筋が見えてくると、行動も早い。それが希望というものだ。GWが目前に迫った4月下旬・・・、田谷は行動に移す。東進の授業は予備校界一、わかりやすく、 受けていて楽しい授業である。受験勉強が楽しくできるのは東進ならでは、といってもいい。受ける授業、受ける授業はすべて納得できるものだった。

4月下旬から5月末まで、基礎講座を受けまくる。成果はすぐに出る。6月のセンター模試では英語が50点UPの172点。4割にも届かなかった数学も6割台後半と、 驚異的な伸びだった。結果が出ると行動に拍車がかかる、6月~7月初旬、基礎講座だけでなく、応用講座、そしていよいよ入試レベルの講座にも到達。予定していた講 座を驚異的なスピードでこなす。8月からは、センター試験過去問演習講座も開始。センター試験の問題12年分すべての教科を終わらせ、9月以降は、東進で行われた -過去のセンター類題問題もこなした。10月から、千葉大学の過去問演習・早稲田大学の過去問演習。過去問は3回やれ、担任から言われたアドバイスを忠実に実行した。 いつしか、田谷は、年度と問題内容、が再現できるほどに、過去問の意図までも、そして傾向の変化をも恐いくらいに暗記してしまっていた。

第一志望、早稲田大学教育学部合格。 千葉大学理学部、立教大学・学習院大学・中央大学等オール合格。

全滅から、全勝へ。この1年で自分の限界が大きく広がったのだ。『東進にしてよかった…。』あらためて感謝の気持ちを伝える田谷の表情は希望の芽か開花したように映っていた。

先輩たちの合格体験から、君に合った東進の1年を見つけよう! まずは、経験豊富な担任に相談してください!

東進でつかんだ春!東進でかなえた夢

東進を選んだ先輩たちの合格体験から、3 ランク上の大学を君の手に!!

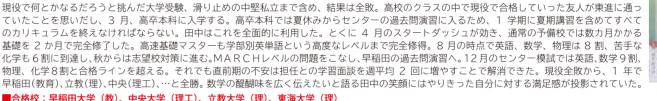


中央大学を蹴って浪人。東進本科コースで慶應義塾・早稲田・上智・横浜国立・立教を全勝!

岡は一度目の受験で中央大学を合格するも、何か釈然としなかった。高3の夏まで部活を続け、本格的に受験勉強に取り組んだのはそれ以降。もしもっと勉 強時間がとれていたら結果は違っていたはずだ。自分はもっとできたはずだ…と。それが理由だった。そして再受験を決意し、多くの選択肢の中から予備校 は東進に。「浪人するなら、現役と同じようなラインを思い描いてたらダメなんです。もっと早く、もっと高いレベルで完成しないと。だから自分は高速 学習のできる東進を選んだんです。」こうして岡の浪人生活は東進でスタート。最初の面談で「力がそれだけあるなら、まずこの1ヶ月で3講座を確実に :なせ。スピードが勝負!」と言われた時、この人についていけば大丈夫だと岡は確信した。そして担任との二人三脚が始まる。計画通り順調に成績を 伸ばし8月のセンター試験本番レベル模試では達成率90%を突破した。だが、全てが順調だったわけではない。続く回では生物で失点。達成率を落とす。 同月の記述模試では数学の達成率が5割。点数が安定しない。その後、岡と担任はお互いの考えをぶつけ合いながら面談を繰り返す。10月、本格的な記述・ 過去問対策に入った。過去問は担任からの薦めもあり、夏から少しずつ目を通していたが、慶應義塾・早稲田の過去問は実際に時間を計って取り組むと 非常に厳しかった。担任からは 10 年分を 5 回以上繰り返せと言われている。さらに弱いと思う部分は積極的に志望校対策講座を申し込んでカバーした。 もう岡に死角はなかった。そして一年間で確実で身に付けた実力が早慶上智トリプル合格という結果をもたらした。

■合格校:慶應義塾大学(経済)、早稲田大学(商)、上智大学(経済)、横浜国立大学(経営)、立教大学(経営)

なんとなくできるからセンター9割超えの確かな実力へ。早稲田、中央、立教全勝!







東進本科コースで得るべくして得た東京大学理科 1 類合格!

■合格校:東京大学(理科1類)

「実は他予備校に行こうと思っていたんですよ。奨学生の試験も受けて、その結果がでる前日でした、東進からのダイレクトメールが届いたのは。」宇治川 は地元の出身だが、東進が地元にあることを知らなかったという。「あと一日手紙が届くのが遅かったら普通に他予備校で入学手続きをしていたと思いま す。」と、東進とは運命的な出会いだったことを語ってくれた宇治川。その日のうちに資料を請求し、翌日には来校。本科担当と話をし、体験授業を受講。「東 進は他のコース制の予備校と違って自分で受ける授業が選べるし、そのどれもが引き抜きで集めてきた最高の先生のもの。」こうして宇治川の浪人生活は 東進で始まった。宇治川は自宅受講のシステムを使い登校までに講義を一つ終わらせてくる。「本気で勉強に打ち込みたいと思っていた自分にとって、東 進の高速学習は最高でした。8 月末のセンター試験本番レベル模試では 900 点満点中 820 点を記録。センター試験レベルに関しては学力を維持する勉強 、と移行、授業も 9 月まででほぼ全ての予定をこなした。そして秋。いよいよ本格的な記述・過去問対策に入る。計画通りだ。過去問は夏から少しずつ取 J組んでいたが、担任からの勧めで過去問演習講座を申し込み、10 年分を徹底的にやった。「過去問演習講座は最高でした。時間を計って大量にやり込み、 きちんと採点してもらう。さらに解説授業を受けたことで合格を確実に掴めたと思うんです。」宇治川。東大模試で相対的に達成率が低い国語・物理・化 学は答案練習講座でひたすら記述の練習をした。やり残したことは一つとしてなかった。そして得るべくして得た東大合格。

宇治川 史槻

東進本科コースだからできた…志望大学 2 ランクアップ。慶應義塾大学 薬学部 合格!!

早いスタートが合否を決める。常に言われていたその言葉を胸に、内田は 2 月 21 日、目標を来年の受験に定め新たにスタートを切った。本科コース 生第一号。志望は薬学部、明治薬科大。この際なので特待生合格をねらいだ。夢の実現も合格も、それをどれくらい強く思えるかで決まるのだ。高卒 本科コースは 15 講座が基本。基礎事項の復習からスタートして、実戦問題の内容をマスターする講座まで、高速学習でどんどんこなせる。内田はす べての教科において、知識の見直しからスタートした。英語は文法から、数学・化学は単元ごとに抜け落ちている部分をひたすら埋めていく。一番苦 手とする英語はそれに加え、毎朝の音読と高速基礎マスターを併用した。この継続が、英語の飛躍的な伸びをもたらし、夏前に得点率 8 割にのぼる。「最 初は英語が嫌いで仕方なかったんですけど、渡辺先生と安河内先生の授業のおかげですね!英語アレルギー無くなりましたもん!」と内田。同月には 志望校のランクアップを決心した。夏にはすべての教科で実戦問題を意識した講座をスタートした。そして秋には本格的な過去問演習に突入。合格計 画はほぼ順調である。壁にぶつかることも何度かあったが、序盤の基礎固めが万全だったため、解決策はすぐに見つかる程度のものだった。志望校対 策講座も積極的にこなし、準備は万全。過去問・模試の復習は勿論のこと、本科コースで行っていた小テストまでも完璧に復習をこなしていた。結果、見事、



(熊谷女子高校卒)

■合格校:慶應義塾大学(薬学部)・明治薬科大学(薬学)、昭和大学(薬学部)特待生合格・東京薬科大学(薬学部)

第一志望校·慶應義塾大学薬学部薬学科合格。

髙井が東進に入学したのは実は高校 2 年の夏。「お姉ちゃんが安河内先生の授業を受けていたんです。それで東進がいいよって聞いていて。授業を受けて

初めて味わった、大きな挫折だった。浪人をするにあたって髙井が真っ先に考えたのが、東進での勉強を継続するということ。本科コースのスタイルはハ ′ブリッド型。個別授業を中心としたカリキュラムを組みながら、一方で仲間と切磋琢磨する本科 Navigation 英語という集団授業、ホームルームを取り 、れた指導をしている。「いつも夕方のホームルームの後、日本史の一問一答をやっていたんですよ。同じ日本史選択の仲間と。」彼女の成績アップの原因 一つに、仲間との時間があったのは間違いない。英語は前年度からの続きとして、ハイレベルな文法からスタート。ほんの一ヶ月でこなし、次へ。模試 成績も順調だ。が、どうしても力が安定しないのが現代文。「練習と経験を積むことがどれだけ大切か、随分語りましたね…」と担任。担任について髙井 tこう語る。「私の質問に対していつも直剣に答えを探してくれました。だから、聞けば何でも良い方向に遵いてくれると思えたんです。」順調に物事が進 んでいる時というのは、人の力を必要としないことも多い。本当に困った時、自分自身で答えが見いだせない時、助けになるのが担任なのだ。最後まで苦 (熊谷女子高校卒) しんだ現代文も、12月には91点を記録し、目標得点を圧倒的に突破。過去問対策も万全。合格準備完了。そして信頼する担任と二年越しに得た「春」を喜んだ。

みて感動しました。」それから部活をこなしつつ、学習を進めていた髙井。しかし、一度目の受験は全敗。現実というものの厳しさを知った。髙井が人生で

■合格校:立教大学(経済)・青山学院大学(経済)・学習院大学(経済)・成城大学(経済)

東進本科基本コース (15 講座) ×2 の高速学習で中央大学 人文社会学部 合格!

「私はみんなの様に優秀ではないけれど、この数ヶ月、目標に向かって精一杯頑張ります。よろしくお願いします。」3月、本科コース生はじめてのホームルー ム。船田の第一志望は中央大学の人文社会学部だ。学習開始時点での学力と志望大学の差は偏差値で 12 以上。一般的に、偏差値 10 の差というのは合 格率にすると限りなくゼロに近いとされる。船田の学習は、すべての教科において基礎レベルからのスタートとなった。東進では、本人の頑張り次第で どこまでも学習を進められる高速学習ができる。偏差値 12 の差を埋めるにはこの学習方法しかないが、この学習法をもってしても、本科基本コース 15 講座では到底間に合わない。それが偏差値12の壁なのだ。―基本の15講座を二つ分―それだけの学習量が絶対条件である。確認テストがクリアできず、 授業のレベルを下げる苦渋の決断をしたこと。そこで流した涙。「悔しくて、情けなくて、辞めようと思うこともありました。」と船田。それでも彼女は 現実を受け止め、前に進むことをやめなかった。平均睡眠時間は4時間足らず。人の2倍・3倍の努力が必要ということは2倍・3倍の時間も必要と考 えたからだ。9月に入ると、過去問に充てる時間が増えたが、これまでの基礎講座の復習を怠らなかった。担任が伝えた繰り返しが当然のことになっていた。 そして中央大学の試験。今までやって来た事、身につけた事を全部出し切ったという手ごたえがあった。偏差値 12 の差を彼女はたったの 10 ヶ月で埋 めたのだ。努力の量から考えれば2年にも3年にも匹敵するはず。その確かな努力が実り、第一志望校に見事合格!



■合格校:中央大学(人文社会学部)

合格体験記 NEW

現役時専修大不合格。高卒本科コースで2ランクUP合格、GMARCH突破!

法政法 学習院法 駒澤法怒涛の合格!

高3夏に野球部引退、受験勉強を必死に追い上げるが結果は日東駒専不合格。 ランク下の大学にはなんとか合格したが磯谷の気持ちは晴れなかった。

6

礒谷駿介 (松山高校卒)

『俺はまだできる』

磯谷の浪人生活は誰よりも早く2月にスタートした。3月から、英語は文法、国語は基礎的な語彙、日本史は基礎事項の習得と、基礎を重点的に固めた。その甲斐もあり、6月のセンター模試では早くも英語8割、国語7割5分、日本史7割に達した。

天王山の夏。受験生といえども夏はだらけるもの。そこで磯谷は担任と相談し、『継続』に 照準をしぼる。夏40日間のうち2日を休日にあて、残り38日間、毎日12時間学習をス ケジュール。午前中は得意の英語、午後は課題の国語、日本史にあてた。人生で最高に勉強 した。

満を持して臨んだ8月のセンター模試。だが結果は思ったほどあがらない。『あれだけやったのに上がらない。なぜだ?』さすがに落ち込む。顔色がすぐれない礒谷をみるやいなや、担任は一言。『努力を続ければ必ず成果はでる。夏の努力はやがて冬に現れる。それに成績はすぐにあがらなくても間違いなく実力はついている。』

9月、夏と同じ学習時間が確保できた。体が覚えていたのだ。そして担任の言葉どおり、夏の『継続』が飛躍的な成果をもたらす。

10月のセンター模試。英語は180点を突破、日本史、国語も8割を突破した。 そしてメンタルコントロールが重要な秋。

秋の東京6大学野球ツアー、大学対抗戦ラグビー観戦ツアー。大学生活がぐっとイメージできた。

12月のセンター模試は得点アップ。迎えたセンター試験本番。

直前はだれもが不安になるが礒谷には自信があった。

『俺はこの1年誰にも負けないくらい勉強した。夏の努力を思い出せば本番でどんなことがあってもやれる』

結果、センター自己最高。センター利用で専修、駒澤を合格。

第一志望法政合格。まわりの友人たちからは驚嘆の声があがった。

いま、礒谷は市ヶ谷のキャンパスで将来の自分をえがいている。

センター160 点アップ。高卒本科コースで苦手科目を得点源に!国公立合格!

埼玉大教育 東洋経済 日本女子合格!



服部菜々子 (熊谷女子)

高校時代は部活に明け暮れた。

部活はチアダンス。全国優勝を遂げるほどの成績をあげ、完全に引退したのは 初夏。そこから受験勉強を本格的に始める。

得意の英語は順調に伸びたが、苦手の数学が伸び悩む。国公立文系志望の菜々子にとっては数学が難敵だった。 中学のときから苦手意識があった数学に時間が奪われ、結果、選択科目に時間をとれず、懸命に追い上げるも、 合格通知はこなかった。しばらく何をする気にもならなかった。

東進の担任から言われたことばがあった。『これ以上ないくらいに努力して勝ち取った大学を母校にしよう。が んばろう。』胸に刺さった。

春というにはやや肌寒い3月の終わり。菜々子はもう1年やることを決めた。

4月。最大のお荷物だった数学、理科の受講からとりかかる。暗記が間に合わなかった日本史は細かい知識よりもまず体系的理解に力をいれることにした。現社、漢文、古文も並行した。不得意科目のオンパレードだったが、6月には5教科7科目をひとまず終わらせた。7月からはセンター過去問にとりかかる。理系科目は先に10年分を終わらせ、文系科目もほぼ10年分こなした。

満を持してのぞんだ8月センター模試。苦手の数学、理科は上昇したが得意の英語が下がった。菜々子が期待していたほどの結果はでなかった。ショックだった。

『数学理科を仕上げたことはあとで効いてくる。英語は時間を多めにさけなかったのが原因。こまめに英語も時間を割いていこう。必ず成績は上がるから心配するな。』担任のアドバイスには、結果に左右され、うしろ向きになりがちな菜々子には太陽のような温かさと信頼があった。

9月からは**センターレベルを超える学習を心がけ、私大過去問を多めに解いた。毎日3教科1年分を解いた。** 秋の美術館ツアーにも参加、秋の空気を胸いっぱいに吸った。

迎えた 10 月センター模試。自己ベストを 50 点以上も更新。

12 月センター模試でさらにアップ。センター本番は平常心でのぞめた。結果、**前年センターを 160 点上回る自己最高を記録。良くて**上昇率 7%と言われる浪人 1 年の現実だが菜々子はなんと 18%もアップさせたのだ。 2 月、気持ちを切り替えて私大入試。入試当日も校舎に寄って夜遅くまで勉強を続けた。

2月25日、国公立前期入試。秋以降の過去問演習が効き、自己採で7割は余裕で超えることができた。 前期入試後は、すぐに中期、後期に向かって対策を続ける。飽きっぽい菜々子の性格を見抜いていた担任との 当初からの約束をけなげに守りつづける。

3月6日、合格発表。

『受験番号111342番、おめでとうございます! 合格です。』

嬉しさと、もどかしさの織り交ざった少し複雑な気持ちだった。

『…自分には、春というものは来ないと思っていました。』 『おめでとう。よく頑張り続けたね』

受験時代の表情とは打って変わってピンク色にそまる菜々子の頬には、これ以上ないくらいに打ち込んだ受験 勉強とやり切った満足感が漂っていた。**神様からのちょっぴり遅い春の贈り物であるかのように…。**